

## 平成 25 年度第 9 回小学校ゼミナール記録

2013 年 12 月 6 日(金)

於：広島大学教育学研究科

参加者：福田博人(司会), 他 11 名

### 1. 協議事項

4 つのグループに分かれての算数科における授業作り及び授業展開の議論

### 2. 協議内容

院生側はパターンの科学としての数学という見識から、「数学：パターンの科学」の捉え方と学校数学（後藤）、統計におけるパターンに関する様々な考察（福田）、パターンの科学としての統計（上ヶ谷）というテーマでそれぞれまとめ、また国際比較という意味で中国の棒グラフの特色（ジャア）と日本の棒グラフの特色を比較した。

また、前田先生からは好きなスポーツに関する様々な棒グラフの表し方の教材例が提示された。前田先生の方からは、グラフを読むということテーマにパターンの科学としての数学の観点を踏まえながら教材の検討を行った。グラフを読むには、「全体→部分→全体」という態度が必要であるということ、その中で小学校三年生の場合、一目盛りをどう読むのかが問題点となり、目盛りについて考えるような教材としてどういったダミーグラフを用いるかなどが議論された。

課題として、統計のバックグラウンドでの数学的考え方とは何か、とくに目盛りを読むとはどんな数学的価値や数学的な考え方を必要とするかがあげられた。

(文責：後藤 佳太)